

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故事例
2. 体験した事例の名称	訓練後の空気ボンベ撤収中の負傷事故
3. 体験した事例の中心的要素	空気ボンベ撤収中、階段で躊躇、左手を負傷
4. 体験した事例の原因・理由	救助大会に向けての訓練が負傷者にとって本日初めてであったため、精神的・肉体的に疲労し、訓練終了後の撤収で注意力が散漫となったと推測する

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成 18 年 5 月 1 日 午後 5 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：消防庁舎 訓練棟
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか)	転倒、
7. 事例体験時の活動	演習訓練、 [救助 (大会に向けた訓練)、]
8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか	その他：器材撤収中
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[26]歳、 勤続年数[2]年、 現場経験年数[1]年、 階級[消防士]、 同様の活動 [頻繁]、 任務 [隊員]
○当事者B	年齢[]歳、 勤続年数[]年、 現場経験年数[]年、 階級[]、 同様の活動 []、 任務 []
○当事者C	年齢[]歳、 勤続年数[]年、 現場経験年数[]年、 階級[]、 同様の活動 []、 任務 []
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	訓練隊員全員	ほふく救出訓練終了後、訓練隊員全員で器材撤収	
経過2	消防士A (負傷者)	空気呼吸器本体からボンベを取り外し、ボンベを右手に持ち訓練棟2階へ搬送	
経過3	消防士A (負傷者)	階段踊り場で躊躇、左手を踊り場につき体勢を保とうとしたとき、右手のボンベが左手上に落下	
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか?

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか?

危険情報を把握、予見できなかった。集中力、注意力がなかった。資機材の操作がうまくいかなかった。指揮者が適切に指示しなかった。他隊(員)から適切な注意を受けられなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	はい
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	はい

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躊躇したり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた（適切な指示を与えられなかつた）。

・活動指示が得られなかつた。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があつた。

はい：救助大会に向けての訓練が負傷者にとって本日初めてであったため、精神的・肉体的に疲労し、訓練終了後の撤収で注意力が散漫となったと推測する。

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○注意力欠如、焦り等の対策について

- ①撤収完了・解散するまで緊張感を持続する。
- ②過去の事例を研究し、危険を予測して事故防止に努める。

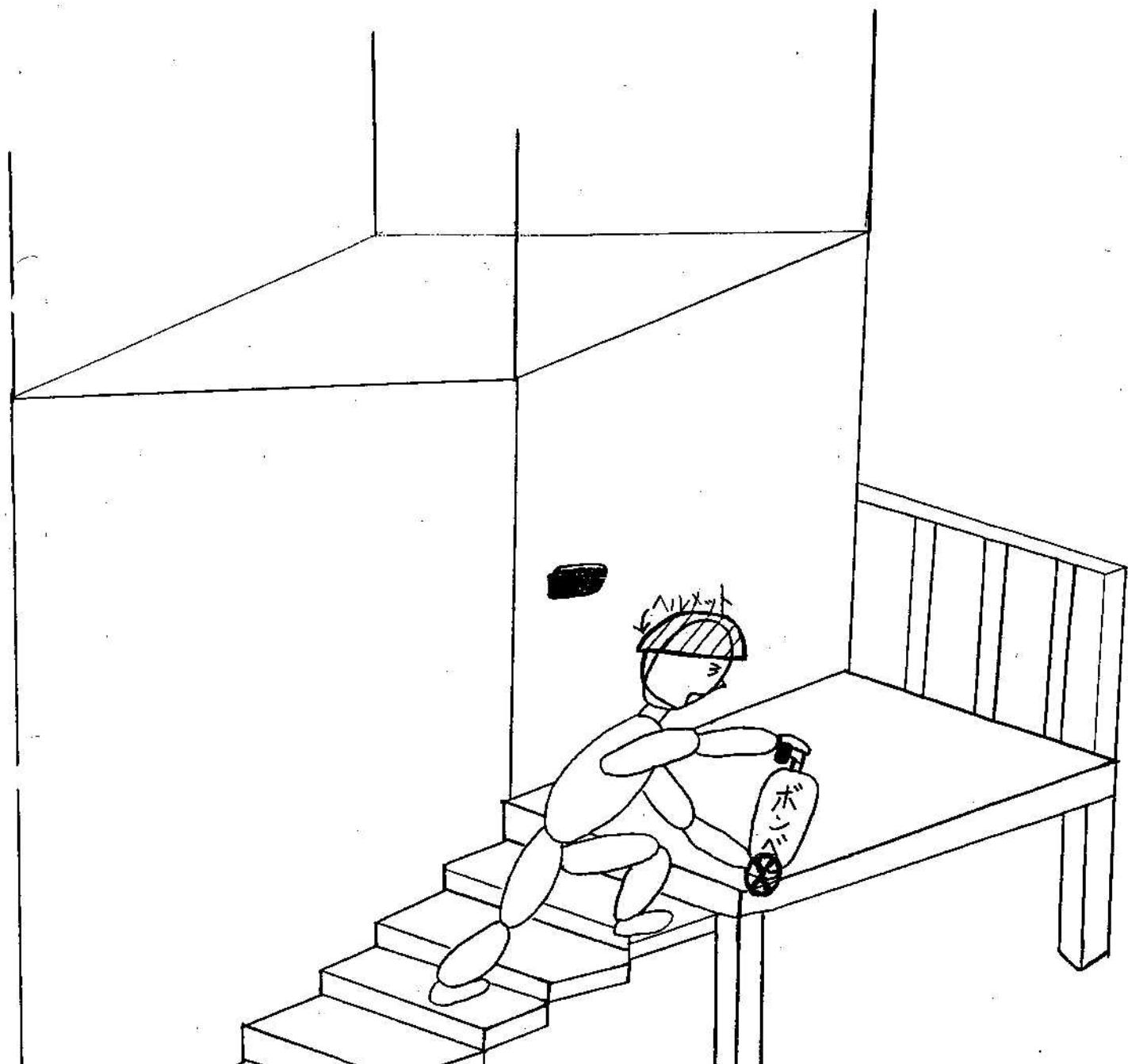
○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

- 撤収作業中も指揮者、監督者の安全管理を徹底する。

負傷発生状況図



訓練施設 B 塔

2階 跳り場付近